

# 「まいにち笑顔　みんなが笑顔」

「午」と「馬」



七小の皆さん、令和8年あけましておめでとうございます。冬休みが終わって今日から3学期がスタートしました。冬休みは楽しく充実した日を過ごすことができましたか。

さて、今年の干支は「午」です。年賀状を出した人もいると思いますが、どんな字を書くか分かりますか。普通に動物をイメージすると「馬」になりますが、干支では「午」と書きます。どちらも2年生で習う漢字です。では、なぜ「馬」ではなく「午」と書くのでしょうか。

それは、昔の中国の人は、1年や1日を12個に分けて考えていて、そこに月や時間を表すための記号として「午」などの漢字を当てはめたそうです。そして「午」は、1年の中で一番太陽の力が強くなる6月頃を表したり、1日の中で一番太陽が高くなるお昼の12時頃を表したりしています。だから、お昼の12時を「午」の字を使って「正午」といい、12時前を午の前で「午前」、12時以降を午の後で「午後」と言います。ただ、記号だけだと覚えにくいということで、後から分かりやすいように身近な動物を当てはめたようです。その時、「午」の月、時間にあたったのが「馬」だったのです。ですから、実は「午」と「馬」では何の関係もないのですが、「午」を「うま」と読むようになったのです。干支に選ばれた動物については、図書室にも絵本があるので興味があったら読んでみてください。

さて、そんな午年の今年ですが、馬は足が速くて力強いので、物事がどんどん前に進む、願いが叶う年だと言われています。また、特に2026年は60年に一度の「丙午」といって、太陽のような明るさとパワーにあふれる年だと言われています。ですから、これまで頑張ってきたことが一気に動き出すかもしれません。また、新しく何かを始めるにも打って付けの年かもしれません。そんな、いろいろな事に挑戦する一年にしていけるといいなと願っています。

この3学期は51日間しかありません。昨年4月に立てた目標をもう一度確かめたり、新年のスタートにあたって新たな目標を立てたりしながら、今の学年の総仕上げと、次の学年に向けた準備期間として、一日一日を大切に過ごしていきましょう。